



「自ら学び・共に学び合える生徒の育成」

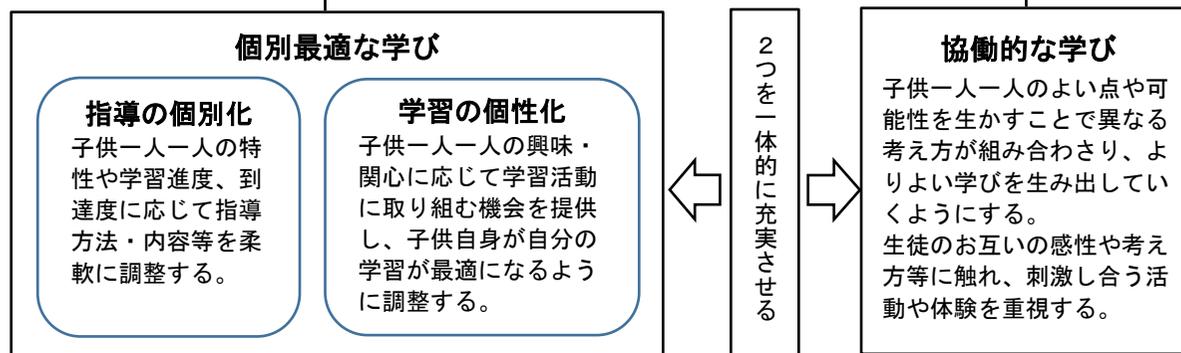
～安心して学べる環境と生徒が主語となる授業デザインの工夫～

学級づくり・教室づくり

- 安心して学ぶことができる教室環境づくり
- ユニバーサルデザインを意識した掲示づくり
- 3学年共通の学びのルール徹底
 - ・安心して発言ができる
 - ・間違いを温かく受けとめる
 - ・毎日の学習の計画と見通しを立てる
- 学級会等合意形成の場面及び誰もが活躍できる機会の意図的・計画的設定
- 生徒一人一人に寄り添う教育相談的指導の充実
- 東中生徒憲章の確実な実践と検証

確かな信頼関係の構築（教師と生徒、生徒同士）

授業改革 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善



○教師主導の学びから学習者主体の学びへの転換
→「教師がいかにかえるか」から「生徒がどのように学ぶか」へ

基礎力・学習スキルの育成

- ICTの効果的な活用
- リーディングスキルの育成
- まずは、「自ら考え」、そして、「仲間の考え」を聞く学習の定着

目指す生徒像

『郷土を愛し、夢に向かって粘り強く努力する生徒』

- ・自ら学び、未来を切り拓く確かな学力を身に付ける生徒
- ・自他の命を大切にし、豊かな人間関係を築ける生徒
- ・自ら心身を鍛え、最後まで粘り強くやり抜く生徒

家庭学習の推進

- 家庭学習の進め方の確立
- 家庭学習の習慣化
- 授業の振り返りとリンクした予習・復習の定着化

非認知能力の育成

教育活動全体を通じて次のような力を育む

- やり抜く力 (GRIT)
- 自分と向き合う力 (自制心、楽観性、メタ認知力)
- 自分を高める力 (意欲、向上心、好奇心、探究心、自己肯定感・自己効力感、実行力、創造性)
- 他者とつながる力 (コミュニケーション力、思いやり、共感性、社交性、協調性、道徳心)